

平第2幼稚園 子どもたちも贈り物

被災地に元気をプレゼントしようとする日中のフィンランド政府公認のサンタクロースは16日、いわき市常磐の平第2幼稚園（志賀ゆう子園長）を訪れ、子どもたちと交流した。

同幼稚園では11月、園児一人一人がサンタクロースに宛てた手紙を書き、日本・フィンランドサンタクロース協会の「サンタポスト」に手紙を出した。こうした縁で、被災地支援のため来日したサンタクロースが訪れた。

この日は、全園児約16



平第2幼稚園で園児とふれあうフィンランドのサンタクロース

0人が待つホールに、白いひげと赤い帽子のサンタが登場。子どもたちは早速、サンタの指導で元気に「サンタ体操」を披露した。子どもたちとサンタとの質問のやりとりの後、園児代表2人がサンタからプレゼントを手渡され祝福を受けた。また、子どもたちからは、手紙と折り紙で作ったリースがサンタに贈られた。フィンランドのサンタは15日、先に訪問した宮城県からいわき市に入り、同日はラトブで平幼稚園の園児約40人と交流した。

サンタさん やってきた

「サンタが街にやってくるin福島」は16日、いわき市の水族館アクアマリンふくしまで開かれ、子どもたちがフィンランドのサンタクロースと楽しく触れ合った。

「手紙を書いてサンタを街に呼ぼう！」などの活動をしている日本・フィンランドサンタクロース協会と郵便局会社などが企画した復興支援事業の一環。サンタは「フィンランドからトナカイに乗って来ました」とあいさつ。「赤鼻のトナカイ」を歌ったり、プレゼントを配るなどして子どもたちと夢のあるひとときを過ごした。

アクアマリン 一緒に「赤鼻のトナカイ」



フィンランドのサンタと楽しく触れ合う子どもたち